

農繁期 レポート

令和5年 7月号

エースファーム

オーナー 株式会社エース
産地 鳥取県日野郡日南町
水田面積 20.1アール
保証量 玄米905kg
形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 高橋 秀紀さん

今年の梅雨は長く、蒸し暑い日が続いています。日本各地で豪雨による被害が多発しています。

幸い日南町では被害もなく、安心してるところです。

稲の方は順調に育って、先月と比べると見違えるように育ちました。先日、イノシシによる被害防止のため、電気柵を設置しました。

来月初めには、稲穂が出そろいます。いよいよ楽しみな季節が来ます。

7月の作業内容

1. 草刈り

今年は梅雨にしっかり雨が降り、雑草の伸び方が早く、何度も草刈りをするようになりました。そして、草も刈りすぎてしまうとイネ科雑草がさらに繁殖してしまうので、10cmくらい残して刈ることが理想です。



2. 無効分げつ抑制

稲株も繁殖しすぎると生育や収量に悪影響があります。お米の実る稲穂をしっかりと確保した後は、「無効分げつ（穂がならない分げつ）」を抑えるために間断かん水で8月の出穂（しゅっすい）までの水管理を行います。



3. カメムシ対策

カメムシがたくさん発生すると、米粒に斑点をもたらしたり、その結果食味が落ちたりします。農薬で防除することもあります。草をしっかりと刈る（耕種的防除法のひとつ）ことも立派な虫害対策となります。



4. 電気柵の設置

獣害は年々深刻になってきています。猪が田んぼに入ると稲に獣臭が付いてしまうので、侵入を防ぐべく早めに電気柵を設置します。写真の柵は低ですが、鹿の出る地域での柵は2m近くにもなります。

